

鹿行支部における学術委員会活動に関するアンケート調査
—第4報 鹿行支部会員の学術的知識の情報源について—

鹿行支部学術委員会

○大槻厚，宮作泰弘，人見智行，高柳龍司
河原一茂，丸山憲一，石津貞之，沼田裕之
安藤進平，柳沢秀樹，谷口秀和，石崎雄司
大寄哲也，安藤和成，鈴木健也，谷田川友民
田中晃伸，宮本昭博

我々鹿行支部学術委員会は有益な情報を全ての会員と共有し，さらなる地域医療の発展と活性化に力を注ぐことを責務としている。

【目的及び方法】

今後の講演会企画，開催に生かすことを目的とし，アンケート調査を実施した。アンケートは104名の支部会員全員を対象とした記名式で行い，配布から回収までの期間を約1カ月と定め調査した。

【結果及び考察】

[歯科知識収集のための情報源について]

会員は歯科知識の情報源として日本歯科医師会雑誌を好む傾向が認められ，次いで講習会，商業誌，専門書，専門学会誌，スタディグループの順で情報を得ていた。

[歯科知識の情報源で特に重視するものについて]

歯科知識の情報源のうち，特に何を重視しているのかについて最も多かったものは商業誌であり，次いで講習会，専門書，日本歯科医師会雑誌，大学などの教育機関となった。これらのことから情報を入手することがより簡便で，最新の情報が分かるものほど重視されることが分かった。特に重視する歯科知識情報源を年代別に区分した結果，30代の会員は特に専門書を重視しており，他年代の会員は商業誌を重視していることが分かった。30代，40代では，ほかの年代と比べスタディグループを重視する傾向が認められ，インターネットを重視している世代としては40代の会員が挙げられた。また，歯科医師会雑誌に関しては50代，60代以上と年齢を重ねるごとに重視される傾向も認められた。同窓会を重視していると最も多く回答した世代は50代であった。

[定期購読している商業誌について]

デンタルダイヤモンドを購入している会員が最も多く，次いで歯界展望，クインテッセンス，日本歯科評論の順となった。

[歯科関連書籍の年間購入額について]

歯科関連書籍の年間購入金額をについて，1万円以上

5万円未満購入していると答えた会員が全体のほぼ半数を占めていた。半数の会員が、年間に月刊誌1～2誌を含め専門書を数誌購入していることが推察できた。

【まとめ】

交通網の利便性の低さなど地域的問題からか、講演会やスタディグループを情報源にしていると答えた会員が予想より少なかった。より身近で開催され、参加しやすい学習の場を提供することが必要であるとともに、インターネット環境を利用した相互性の高い情報交換など、委員会自体が率先して行っていくことが必要であると再認識した。

当支部会員は、風潮に沿った歯科知識を主に商業誌から得ていることが分かった。これらから、商業誌に掲載されるような最新の歯科医療ばかりに偏らず、よりスタンダードな歯科医学的知識を含む講習会の開催を、学術委員会活動の新たな切り口として検討すべきではないかと考えた。地域医療レベルの均一化を図る上でも、基礎知識の確認・獲得支援の担当者を委員会内に設置し運営していく必要があると考え、今後も模索を続けていく所存である、

連絡先

住所：茨城県神栖市神栖 1-17-34

所属：大槻歯科医院

氏名：大槻 厚（おおつき あつし）

支部名：鹿行支部

電話番号：0299-92-8711

Fax 番号：0299-93-3453

e-mail：aaaohsuki@ybb.ne.jp

日歯生涯研修コード：108949